

PHJ メールニュース 2011 年 5 月号

送信日時： 2011 年 5 月 26 日



ピープルズ・ホープ・ジャパン (PHJ) メールニュース読者の皆様

緑が濃くなりました。皆様お元気ですか？

PHJ メールニュース 2011 年 5 月号を配信いたします。5 月号では引き続き PHJ が行っている東日本大震災支援募金活動についてのご報告とタイ、インドネシア、カンボジアでの活動をお知らせいたします。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ 運営委員（オブザーバーとして出席されている方を含む）の方々、および PHJ を支援してくださっている方々にお送りしています。

PHJ メールニュース 5 月号目次

1. PHJ 本部のニュース

- 1-1. 「東日本大震災」支援—これまでの状況
- 1-2. 「東日本大震災」に関する寄付—PHJ は「指定寄付」認定団体に指定されました
- 1-3. 欧米の商工会議所の Giving Back to Japan で活動を紹介しました
- 1-4. 第 43 回運営委員会で各国の所長が活動報告を行いました

2. PHJ タイ事務所のニュース

- 2-1. 小児先天性心臓病手術
- 2-2. ベトナム 乳がん教育
- 2-3. PHJ タイ事務所の英文ホームページ

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

- 3-1. 保健改善、母子健康改善活動 — テイルタヤサ自治区
- 3-2. 栄養改善活動 — テイルタヤサ自治区
- 3-3. 栄養教育活動 — AIN プログラム
- 3-4. ご支援企業へ活動を報告いたしました

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

- 4-1. 保健センター運営向上、村とのネットワーク向上 — コンポントム州

- 4-2. 母子保健、助産師トレーニング – プレイベン州
- 4-3. カンボジアでの活動について合同報告会と PHJ 報告会を開催しました
- 4-4. 「安全なお産」、あと 200 人分の支援を

.....

1. PHJ 本部のニュース

1-1. 「東日本大震災」支援 -これまでの状況

3 月 11 日に発生した東日本大震災について、PHJ では震災直後から被災地で医療活動を行っている全日本病院協会（全日病）と提携して被災者の救援のための募金活動を行っております。これまでに個人、団体から多額の寄付を頂きました。一部は 3 月から 6 月まで全日病が被災地へ医療救護班を派遣するための費用に充当し、残りは今後被災地の会員病院の復旧のために使わせていただく計画です。

また PHJ はスタッフを全日本病院協会に常駐させて支援活動を行っております。現地での調査や会員や団体から寄付していただいたマフラー、生理用品、毛布、事務用品の提供、PC、プリンターの診療施設への設置についてなどの報告を災害活動ブログに掲載しております。ご覧ください。http://blog.livedoor.jp/ph_japan-saigai/

インドネシアでは多くの方が東日本大震災の募金に応じてくださいました。PHJ インドネシア事務所からのよびかけにジャカルタ市近郊の 14 か所のレストランが募金箱を置いて下さり、2 か月で合計 300,000 円を寄付して下さいました。18 日帰国した伊藤所長が寄付金を届けてくださいました。インドネシアの皆様の温かい思いやりが被災地へ届くように使わせていただきます。

また PHJ タイ事務所が東日本大震災支援のために行っている T-シャツ・キャンペーンの 2 回目の寄付金（71,000 円）を 17 日に来日したジラナン所長が届けてくださいました。タイの皆様の優しい思いやりに感謝して被災地のために使わせていただきます。

ファッション・メーカーのダンヒル社様より、被災地を支援するため、PHJ が行っている東日本大震災支援募金にご寄付のお申し出を頂きました。ダンヒルが販売するサッカー日本代表のオフィシャルスーツとアクセサリー商品をご購入のお客様は合計額から 10%を被災地支援金としてご寄付いただきます。さらにマッチング方式をとり、お客様の寄付金の総額と同額を別途ダンヒルよりご寄付いただくことになりました。

<http://www.ph-japan.org/news/detail.php?q=news4ddca29d249c8>

1-2. 「東日本大震災」に関する寄付－PHJ は「指定寄付」認定団体に指定されました

4月27日に成立した震災特例税制の中にはPHJのような認定NPO法人向け指定寄付金制度が盛り込まれています。この制度は認定NPO法人が、東日本大震災の被災者に対する救援は生活再建の支援を行う活動に充てるために募集する寄付金について、一定の要件を満たす場合に「指定寄付金」として指定するものです。PHJは5月9日東京国税局長より「指定寄付金」認定団体に指定されました。

この指定により、5月10日以降PHJに入金するご寄付は税制優遇の対象となります。下記のホームページをご覧ください。

<http://www.ph-japan.org/news/detail.php?q=news4dd21b1771e07>

<http://www.ph-japan.org/supportPHJ/personal/donation.html> 個人からのご寄附

<http://www.ph-japan.org/supportPHJ/corporate/donation.html> 法人からのご寄附

1-3. Giving Back to Japan で東日本大震災支援活動を紹介

4月25日在日13か国の商工会議所、欧州ビジネス協会、日本外国特派員協会が合同で東日本大震災救援・復興支援のイベントを開催しました。具体的な支援活動を行っているNGO、情報の分野で支援と復興を支える10団体(日本からはPHJ、日本赤十字、ピースボート、他は欧米系)が約200名の出席に向けて英語で紹介をしました。

PHJが震災後いち早く全日本病院協会と提携して被災地への医療救護班の派遣を支援していることが評価され、活動を紹介するよう招待されました。医療救護班の派遣、診療施設へのIT支援、電子カルテの寄贈などを甲谷理事長から説明しました。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan-saigai/archives/51925777.html

当日のプレゼンテーションは欧州ビジネス協会のDisaster Relief Fundで紹介されました(英文)

<http://www.ebc-jp.com/index.php/disaster-relief-efforts/ebc-disaster-relief-fund>

1-4. 第43回運営委員会で各国所長が活動報告を行いました

5月19日(木) 17:00-19:30 日本ゼネラルエレクトリック株式会社様の会議室をお借りして、PHJの運営委員やオブザーバーの皆様にPHJ本部、タイ、インドネシア、カンボジアでの活動報告を行いました。東日本大震災の支援状況について全日本病院協会の事務局長からPHJの支援活動に対する感謝とこれからの協力をお願いを頂きました。

2. PHJタイ事務所のニュース

2-1. 小児先天性心臓病手術

4月には3名の患者の手術(エドワーズ社様支援1名、セントラル硝子様支援2名)を実施しました。また2009年に手術を受けた患者1名のフォローアップを行い、2歳になり、

少しずつ会話ができるようになり、叔父・叔母と暮らしていること、時々熱をだすこともある。また年1回医師の診断を受けていることがわかりました。

5月は3名の患者の手術と過去に手術を受けた患者のフォローアップも予定しています、

2-2. ベトナム 乳がん予防教育

2011年1月にテストプログラムとしてスタートした乳がん予防教育は順調に進んでおります。4月にはベトナム女性自助プログラムのメンバー18名、ベトナム赤十字傘下の地域赤十字委員会 CSCAD 職員 26名、ハノイ女性自助グループメンバー38名に対しトレーニングを実施しました。5月には4回のトレーニングを女性自助グループのメンバーを対象に予定しています。

2-3. PHJ タイ事務所の英文ホームページ

http://www.phj-thailand.org/newsDetail.php?n_id=117

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

3-1. 保健改善、母子健康改善活動 — テイルタヤサ自治区

4月はインドネシア政府の貧困撲滅キャンペーンのテーマ P4K(血液提供者の確保)をテーマに教育活動を実施しました。献血候補者の条件や出産時の緊急献血には妊婦1名に血液提供者2名が付き添うと速やかに輸血が受けられことを強調。献血、血液検査、母乳、栄養をテーマにした保健改善プロモーションを4つの村で実施。

3-2. 栄養改善活動 — テイルタヤサ自治区

2011年度2回目のメニューコンテストを実施しました。テーマは「魚」。メニューを考案した村は12、コンテストに参加したのは10村。栄養バランスチェックは接戦で「食欲をそそる」「美味しい」という評価項目の投票で順位が決着しました。栄養教育は2村で各村が提案したメニューをもとに栄養教育、調理実習を行いました。

3-3. 栄養教育事業 — AIN プログラム

味の素株式会社様が支援してくださっている栄養教育・給食センター建設と菜園開発による栄養改善事業 2010-2011年は2年目に入り、新事業として菜園開発に着手します。

http://www.ph-japan.org/supportPHJ/corporate/titile_sponsor.html#jirei_01

3-4. ご支援企業へ活動報告を行いました

5月20日 インドネシアで助産室付の診療所建設を支援して下さるロート製薬株式会社様

の従業員の皆様に PHJ のインドネシアでの活動について、伊藤所長が報告させていただきました。診療所が建設される地域の保健衛生状況が診療所の建設で大幅に改善されること、社会貢献の重要なこと、成果また PHJ の役割について理解を得られたと思います。

<http://www.ph-japan.org/news/detail.php?q=news4ddc96c95f5d0>

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

4-1. 保健センター運営向上、村とのネットワーク向上 - コンポントム州

4月の主な活動はこれまでの事業評価と次期事業の調査に注力しました。

母親健康手帳の記載内容を抜き打ち検査したところ、ほとんど適切に記入され、診断時に適切なアドバイスを受けたことを確認しました、助産師のサービスについても満足しています。衛生モニタリングは保健センター長が実施し改善も図られています。

保健センター主催で運営委員、保健ボランティア月例会議・伝統的産婆さんのミーティングも定期的に開催されています。ボランティアが独自に保健教育を実施しているとの報告や伝統的産婆のミーティングでも村での保健教育の難しさ、出産や家族計画について具体的な事例を検討しました。

18村で保健教育を実施しました。テーマは「産後健診」で1村平均42名、合計で754名が参加しました。保健教材として紙芝居作成は下絵まで完成しています。

5月初めには東京事務所のカンボジア担当が出張し、これまでの活動の評価共有ワークショップを開催しました。外務省支援事業なので、大使館担当者のほか、地元保健行政責任者、保健センタースタッフ、ボランティア、伝統的産婆も参加して、カンボジア事務所スタッフが中心になり報告を行いました。

4-2. 母子保健、助産師トレーニング - プレイベン州

ニャクルアン自治区での助産師トレーニング、リフレッシュトレーニングを実施しました。病院での4日間のリフレッシュトレーニングには2名、病院スタッフとPHJスタッフが行ったモニタリングトレーニングには2名が参加しました。

今後はびいういんでの1週間フォローアップトレーニング(2名)と研修生2名のモニタリングトレーニングで今年度の活動は終了します。

4-3. カンボジアについて合同報告会とPHJ報告会を開催しました

5月20日 「カンボジア現地代表がNGOの仕事を本音で語る会—組織マネジメントの失敗と成功」をシェア(国際協力市民の会)、日本国際ボランティアセンターとPHJ共催で港区赤坂にある財団法人 国際開発高等教育機構のセミナールームで開催しました。各NGOのカンボジア代表が報告、参加者全員のワークショップでも海外の事務所ならではの悩み

や情報を共有する機会を設けました。35名の定員に50名以上の応募がありうれしい悲鳴をあげました。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/

5月23日PHJカンボジアの代表がコンポントム州で2010年末まで3年間実施してきた事業の報告会を渋谷区文化総合センターで行いました。10名の参加者は全員熱心にカンボジアでのPHJの活動に耳を傾けてくださいました。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan

4-3. 「安全なお産」、あと180人分の支援を

2010年春から始まった「安全なお産」支援募金。みなさまからの支援により保健センターでの妊婦健診・分娩奨励キットを4つの保健センターを配布。4月までに累計で妊婦検診キット500、分娩奨励キット500を妊産婦に贈ることができました。しかし実際には妊婦健診・分娩奨励キット180セット分(180人分)の支援が足りません。引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

http://www.ph-japan.org/supportPHJ/personal/kikaku.html#jirei_02

■ クリック募金にご協力ください！

イーココロ！クリック募金

ピープルズ・ホープ・ジャパンは募金サイト「イーココロ！「クリックから世界が変わる、毎日無料でできるいいこと」に参加しています。<http://www.ekokoro.jp/ngo/195/>

PHJメールニュース2011年5月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。このメールニュースへのご意見、ご要望は info@ph-japan.org までお送りください。次号の参考にさせていただきます。

またこのメールニュースの配信を希望されない方は info@ph-japan.org までメールニュース配信不要とご連絡ください。

発行者：

認定NPO法人

ピープルズ・ホープ・ジャパン

代表 木村 敏雄

広報 矢崎 祐子、南部 道子

〒180-8750

東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail : info@ph-japan.org

URL: <http://www.ph-japan.org>

Copyright: 2011 ピープルズ・ホープ・ジャパン
